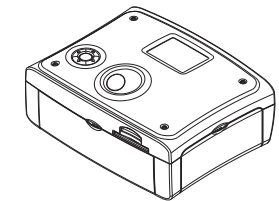
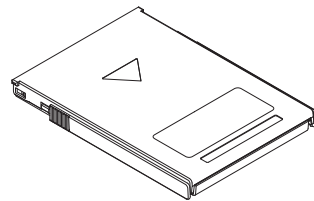
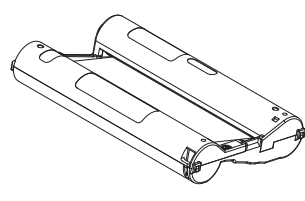
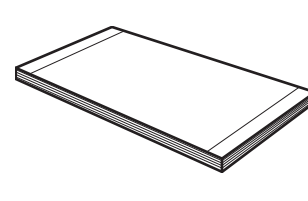
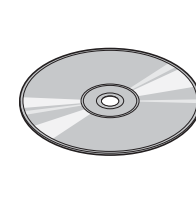
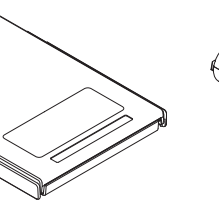
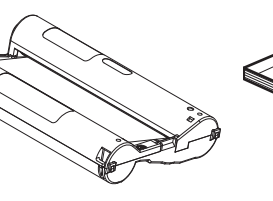
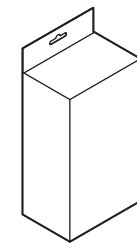
FUJIFILM　FinePix Printer QS-70

クイックスタートガイド

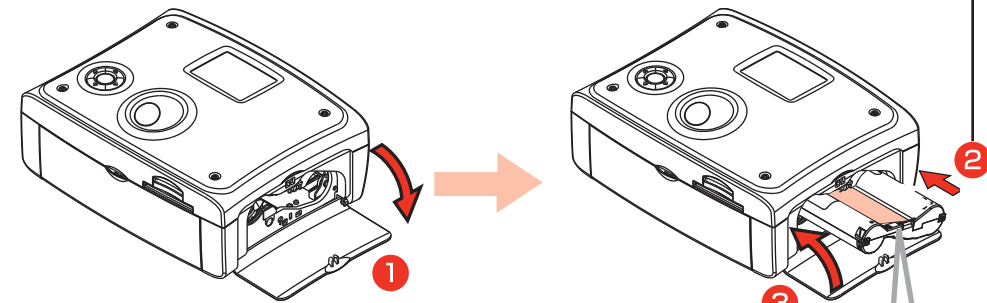
このたびは FinePix Printer QS-70 をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「クイックスタートガイド」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、この「クイックスタートガイド」を大切に保管し、必要なときにお読みください。
詳しくは、同梱の CD-ROM に格納されている取扱説明書 (PDF) をご覧ください。
保証書は裏面にありますのでご確認ください。

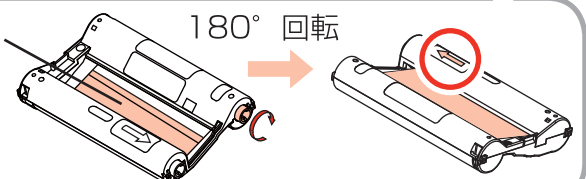
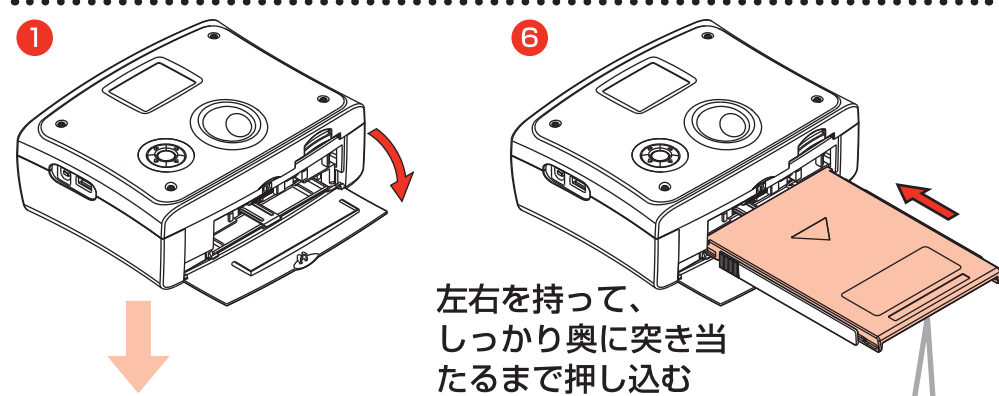
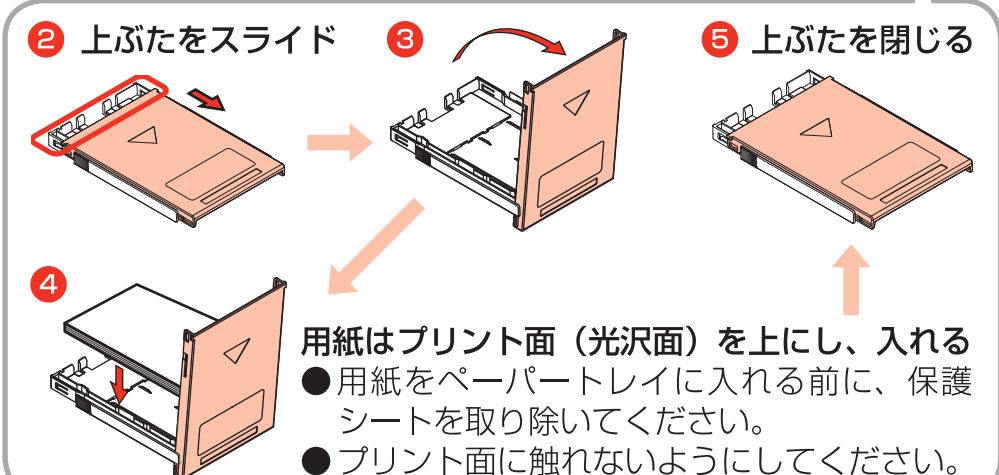
同梱品

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

プリンター本体

ペーパートレイ

インクカートリッジ・ペーパーセット（お試し 5 枚分）

CD-ROM
・プリンタードライバ
・アプリケーション
・取扱説明書

AC アダプター (AC-24V)　電源コード　クイックスタートガイド

対応消耗品（別売）

L サイズ 40 枚 F-ICP40L
L サイズ 120 枚 F-ICP120L

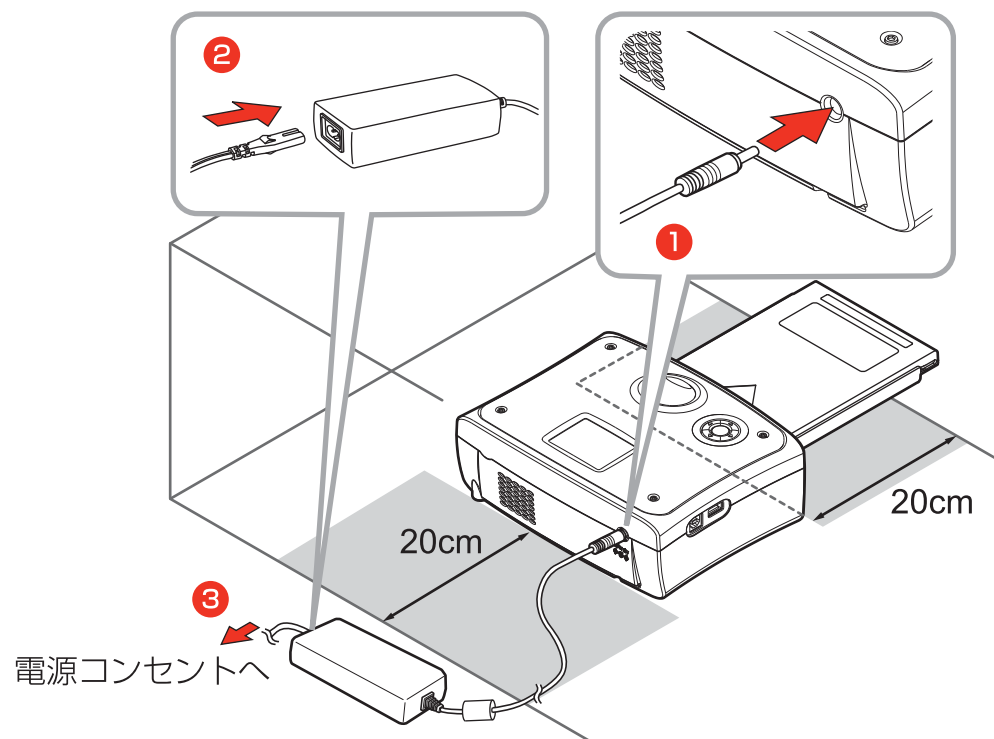
準備

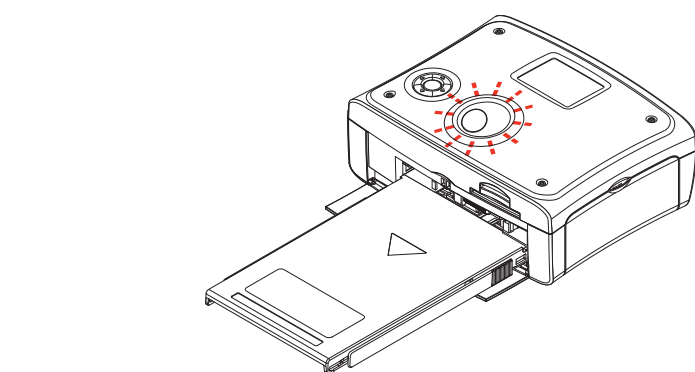
1 インクカートリッジを入れる

インクカートリッジの矢印の刻印を上向きにして、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込む

インクリボンにたるみがないか確認する
●インクリボンに触れないようにしてください。

180° 回転

2 用紙をペーパートレイに入れる

用紙はプリント面（光沢面）を上にし、入れる
●用紙をペーパートレイに入れる前に、保護シートを取り除いてください。
●プリント面に触れないようにしてください。

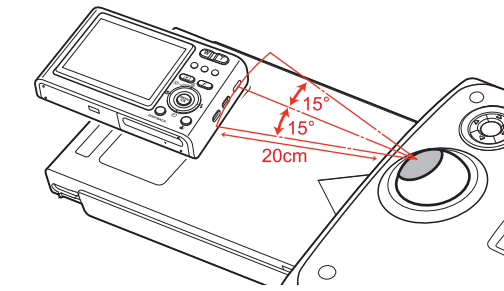
3 接続する

●プリンターは水平な場所に置いてください。
●プリンターの前･後面20cm以内には､物を置かないでください。
プリント中に、前・後面から用紙が出たり入ったりします。

4 起動中

電源ボタンのランプが赤色から青色に変わる（約 17 秒）と準備完了です。

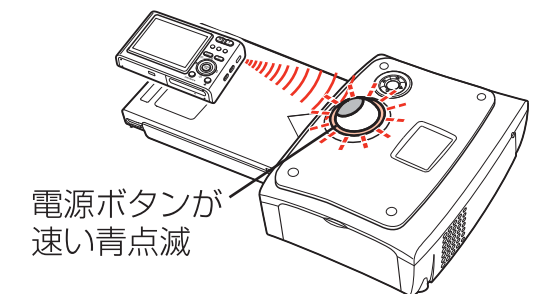
プリント

赤外線通信でデジタルカメラや携帯電話からワイヤレスプリント

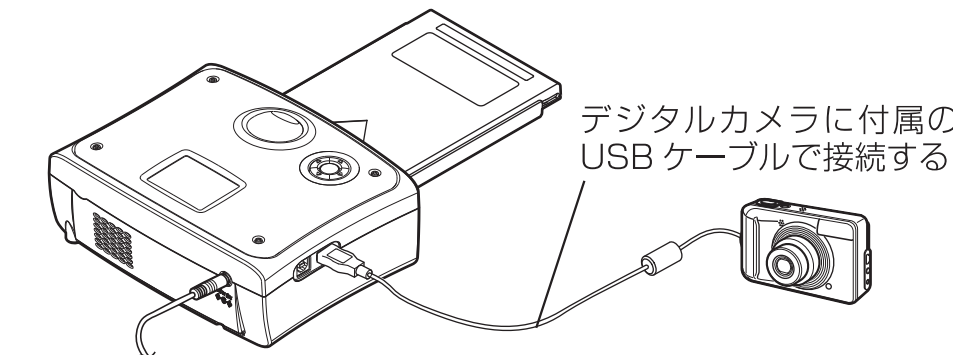
1 送信側でプリントする画像を選択する

2 Ir マークの正面に向けて赤外線ポートを合わせる

3 送信側から画像を赤外線で送る

●画像の送信中は、デジタルカメラや携帯電話を動かさないでください。

赤外線で画像を送れるデジタルカメラや携帯電話のみです。
詳しくはデジタルカメラ、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

プリントが始まります。（遅い青点滅）

PictBridge を用いてデジタルカメラからプリント

1 本機とカメラを接続する

デジタルカメラの操作については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
USB ケーブルはデジタルカメラ付属のものをご使用ください。

2 カメラの電源を入れる

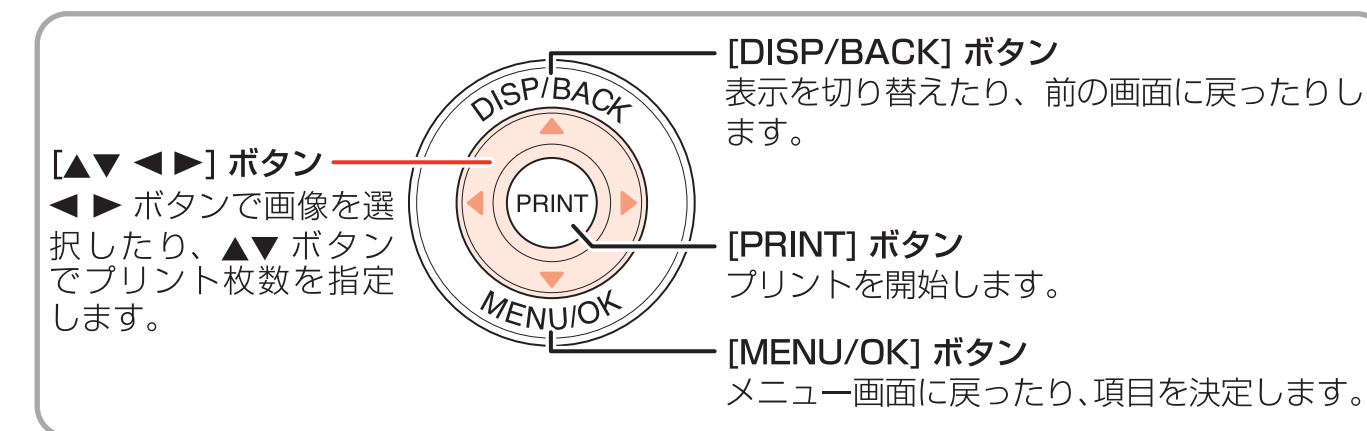
3 カメラ側からプリント操作を行う

プリントが始まります。

4 プリント終了後、カメラを外す

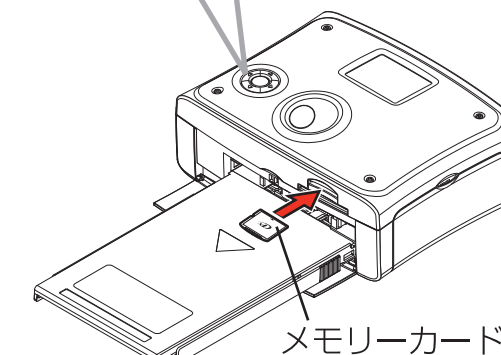
メモリーカードからプリント

1 メモリーカードをカードスロットに入れる

2 [◄►] で画像を選択し、[▲▼] でプリント枚数を指定する

[▲▼ ◄►] ボタン
◄► ボタンで画像を選択したり、▲▼ ボタンでプリント枚数を指定します。

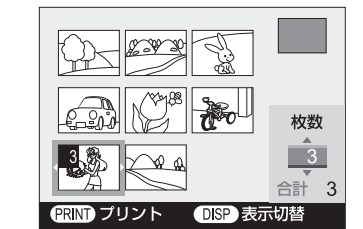
[DISP/BACK] ボタン
表示を切り替えたり、前の画面に戻ったりします。

[PRINT] ボタン
プリントを開始します。

[MENU/OK] ボタン
メニュー画面に戻ったり、項目を決定します。

メモリーカード

使用できるメモリーカード
●xD-Picture Card ™
●SD メモリーカード™(SDHC 対応)
●マルチメディアカード™
●メモリースティック™
（メモリースティック PRO ™含む）
●コンパクトフラッシュ® カード

3 [PRINT] を押す

プリントが始まります。

4 プリント終了後、メモリーカードを取り出す

●電源ボタンが点滅しているときは、メモリーカードを抜かないでください。

その他の便利な機能

● 複数の画像を一括してプリント
● インデックスをプリント
● 一枚の用紙に複数の画像をプリント
● パソコンからプリント

（取扱説明書をお読みください）

● 用紙が 4 回前後に往復します。用紙受け部（ペーパートレイの上）に用紙が完全に排出されるまで、用紙を無理に引き出さないでください。
● プリント後は用紙のミシン目で切り離してください。（プリント前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離したりしないでください。）
● インクリボン、または用紙切れの際は、電源ボタンが低速で点滅します。新しいインクカートリッジ、または用紙を入れてください。
● プリンター内部に用紙が詰まった場合、電源を入れなおすと排出されます。
● その他トラブルの場合、一度コンセントを抜いて、10 秒後に再度コンセントを差し電源を入れなおしてください。
それでも解決しない場合は、取扱説明書（PDF）をご覧ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

◆ **図記号の意味**

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

表示	意味
⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性のあるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

その表示と意味は次のようになっています。

図記号	意味	図記号	意味
	してはいけない禁止事項です。		分解しないでください。
	必ず実行していただく強制事項です。		水等でぬらさないでください。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。		ぬれた手で触らないでください。
	指のケガに注意		手はさみ注意

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分けし、説明しています。

⚠ 警告

外装ケースを外したり、分解、改造をしない
火災や感電の原因となります。

落としたり、外装ケースを破損した場合は使わない
火災や感電の原因となります。

煙がでている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く
異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因になります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙がでなくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

異物を入れない（特にお子様にご注意を）
内部に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源コードには触れない
感電の原因となります。

電源コードを傷つけない
- 引っ張らない
- 無理に曲げない
- 束ねない
- 加熱しない
- 加工しない
- 重いものをのせない

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

AC アダプターや電源コードは本機に付属のもの以外使用しない
火災や感電の原因となります。

本機に付属の AC アダプターや電源コードは他の機器には使用しない
火災や感電の原因となります。

不安定な場所には置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

水でぬらさない
火災や感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。

たこ足配線をしない
火災の原因となります。

⚠ 注意

設置時は、次のような場所には置かない
- 湿気やほこりの多い場所
- 湯煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く
- 締め切った自動車内など、高温になる場所

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因になることがあります。

本機の上に重いものを載せない

上に乗らない（特にお子様にご注意）
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく
通電状態で放置すると、ショートや火災の原因となる場合があります。

接続したまま移動させない
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する
ほこりなどがついたりコンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となります。

本機の通気孔をふさがない

指定された内部以外には手を入れない
手がはさまれ、けがの原因となることがあります。

風通しの悪いところ、狭いところに置かない
- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない・テーブルクロスなどをかけない

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。

印刷中はペーパートレイを抜かない
印刷中は用紙が前後に移動します。手を触れるとけがの原因となることがあります。

火気の近くで使わない
火災の原因となる場合があります。

日本での問い合わせ先

本製品のお問い合わせ先

富士フイルム FinePix サポートセンター
TEL 042-481-1673

固定の一般電話からはこちらもご利用いただけます。
ナビダイヤル **0570-00-1060**
＊全国どこからでも市内通話料金でかけることができます。
＊携帯電話、PHS などからはご利用いただけません。

月曜日～金曜日　午前 9:00 ～午後 5:40
土曜日　午前 10:00 ～午後 5:00
（日・祝日・年末年始を除く）

● **富士フイルム製品のお問い合わせ先**
お客様コミュニケーションセンター・・・TEL（03）5786-1711
（月曜日～金曜日　午前 9：30 ～午後 5：00）

修理のご相談窓口

富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル **0570-00-0081**
呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

月曜日～金曜日 午前9：00～午後5：40　土曜日 午前10：00～午後5：00
日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070**
受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

修理品お持込窓口

全国６箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。

※ サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm.jp/ をご確認ください。
※ サービスステーションの住所、電話などは変更となることがあります。あらかじめ当社ホームページもしくは、富士フイルム修理サービスセンターにご確認の上、お持込ください。